



コレクトアイ
Correct Eye

ImgCorrect 簡易マニュアル



株式会社ジーティービー

Ver. 1.0.0.0.100929

1. 普段の使い方

CorrectEye は、画像入力システム部 CorrectEye Giraffe と検査ソフト Hallmarker 特別バージョンから成っており、CorrectEye Giraffe を制御するソフトは ImgCorrect となっております。

いつもと同じ条件で使用する場合は、CorrectEye(ImgCorrect)を起動するだけで ImgCorrect 側は、特に何もする必要はありません。

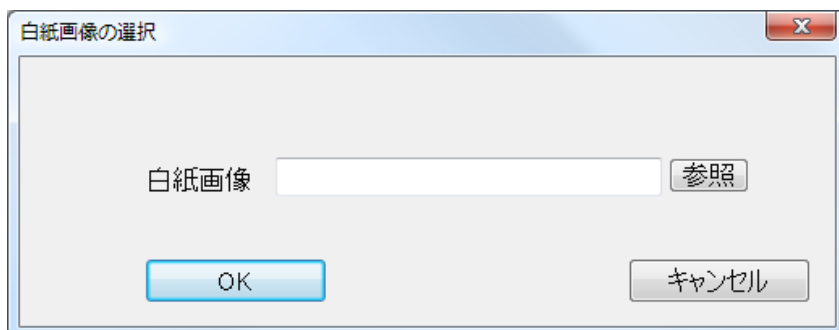
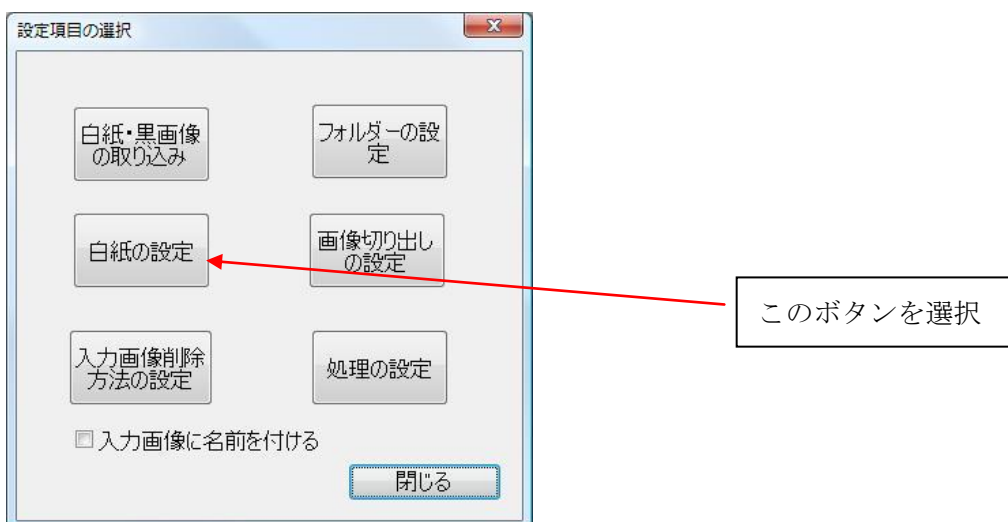
Hallmarker 側での操作のみで使用可能です。

2. 基準白紙の変更

アナログ対アナログ検査時は問題となりませんが、デジタル対アナログで検査する場合、紙の白さの違いを吸収するためには、実際に検査を行う抜き取りサンプルと同じ用紙の白紙で白レベルの補正を行う方が望ましいです。

また、設置環境が変わった場合等、照明の条件が変わった場合は、標準の白紙を取り直したものに変更する必要があります。

変更は、ImgCorrect の操作パネル上にある「設定」ボタンを押すと表示されるダイアログから「白紙の設定」を選択し、白紙画像を指定することによって行います。



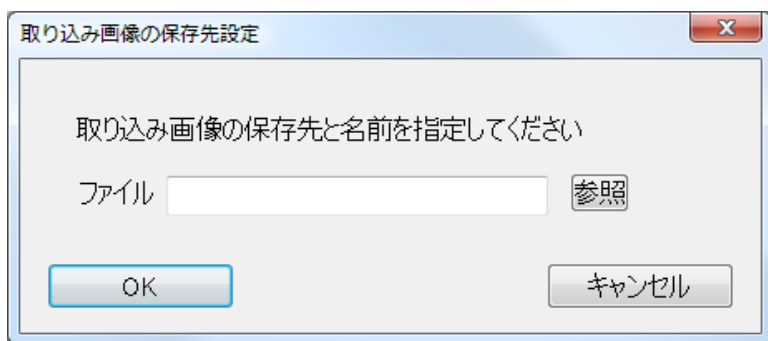
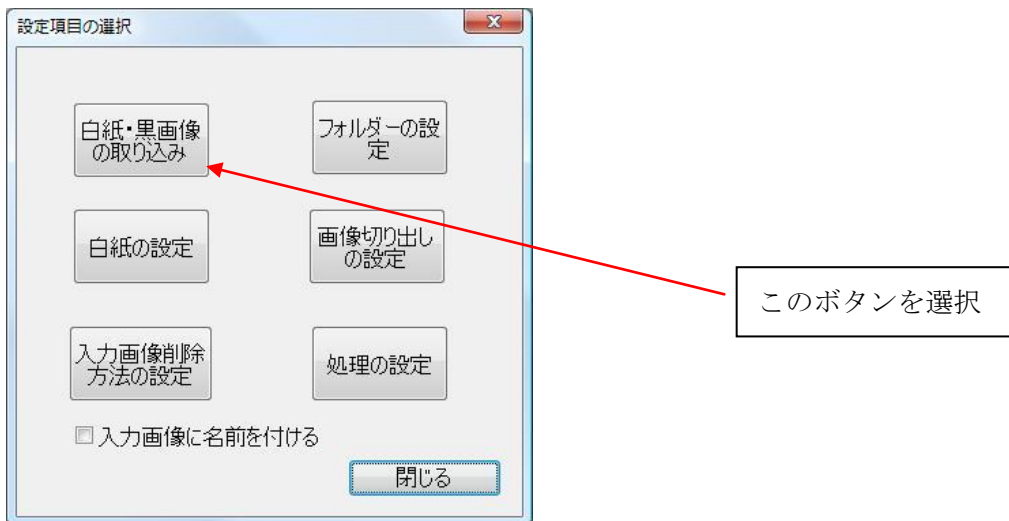
3. 基準白紙の登録（取り込み）

白紙の場合は、カメラのオートフォーカスが効きませんので、予めピントを合わせた状態でカメラのフォ

一カスモードを **M** (マニュアルフォーカス) にします。

また、当て板を含めた視野内全体を補正するために、当て板を外して標準の白紙を視野全体をカバーするように且つ用紙に摺り込みが無いように置いて取り込みます。

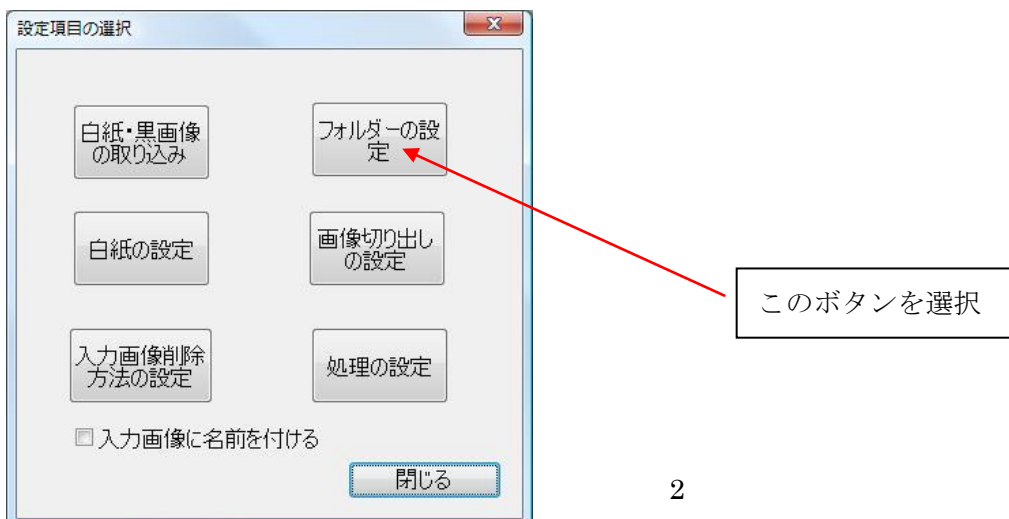
白紙画像の取り込みは、**ImgCorrect** の操作パネル上にある「設定」ボタンを押すと表示されるダイアログから「白紙・黒画像の取り込み」を選択し、保存する白紙画像の名前を分かりやすく指定しておく事をお勧めします。



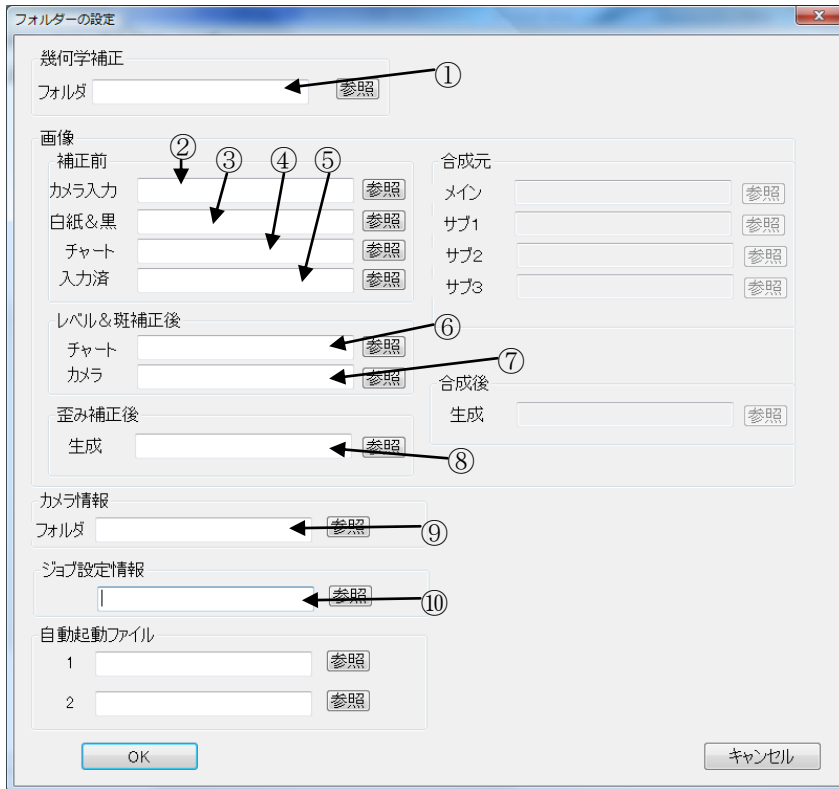
4. フォルダの設定

CorrectEye システムで使用するフォルダを設定します。

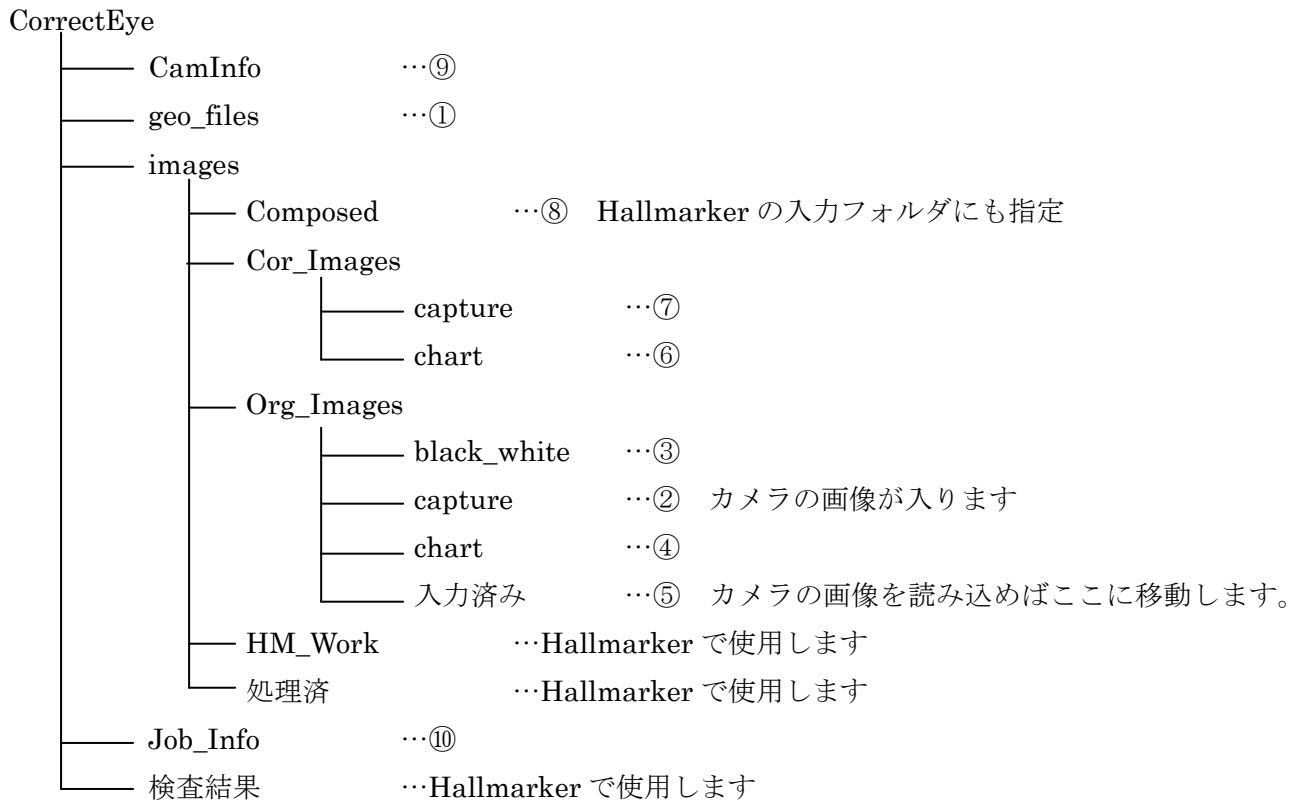
白紙画像の取り込みは、**ImgCorrect** の操作パネル上にある「設定」ボタンを押すと表示されるダイアログから「フォルダーの設定」を選択し、各項目の参照ボタンを押して該当フォルダーを登録します。



A. カメラ 1 台構成の場合



CorrectEye で使用するフォルダは、例えば CorrectEye をルートフォルダとするとカメラ 1 台構成時の CorrectEye 以下のフォルダ構成は、一般的に次のようになっています。

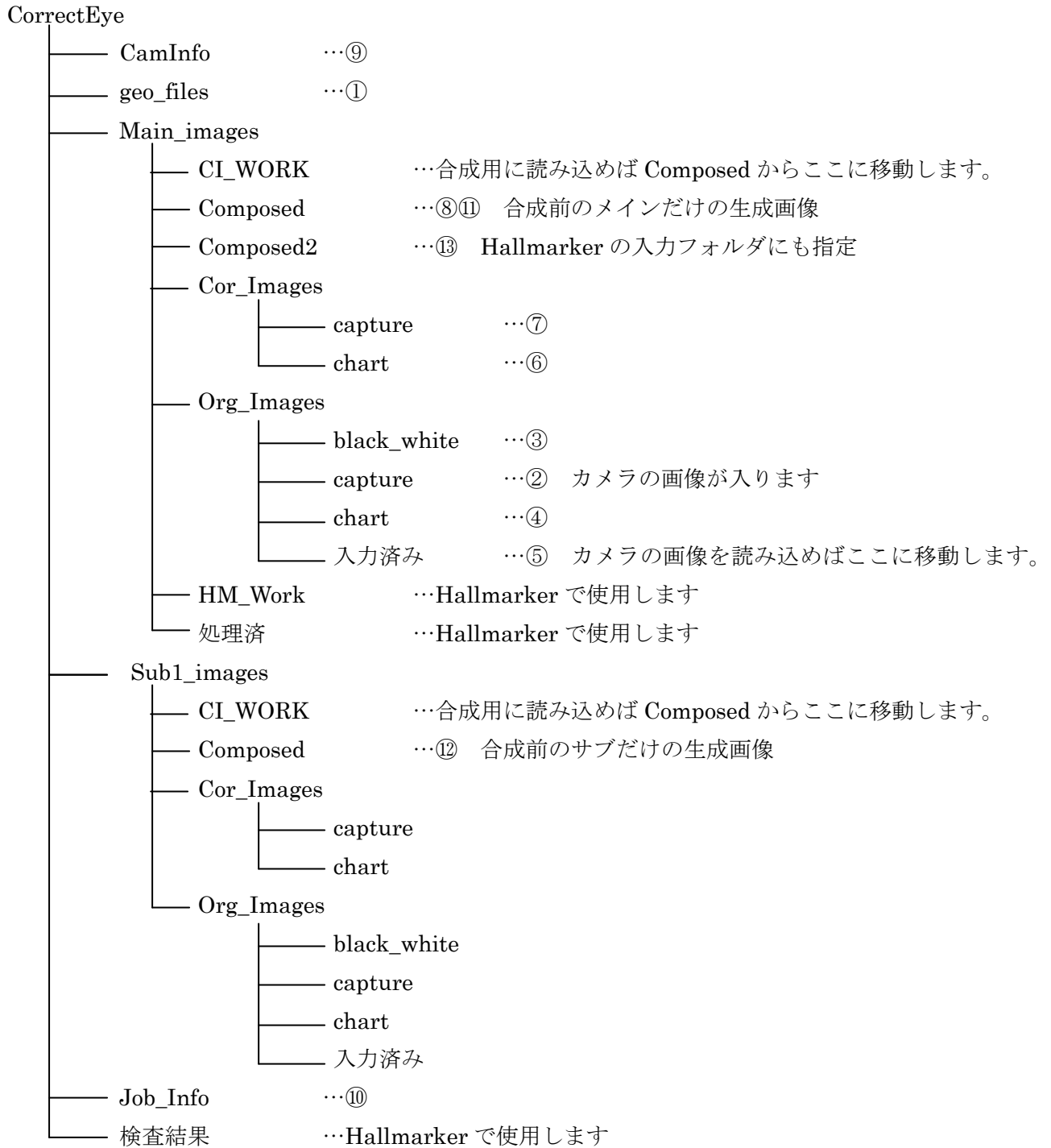


B. 複数台カメラ構成の場合

カメラを複数台使用する場合は、複数台の画像を統合するメインとそれ以外のサブに **ImgCorrect** は分かれ、サブの場合のフォルダの設定はカメラ 1 台の場合と同じですが、メインの場合(例えば 2 台構成の場合)は、以下のように設定するフォルダが増えます。



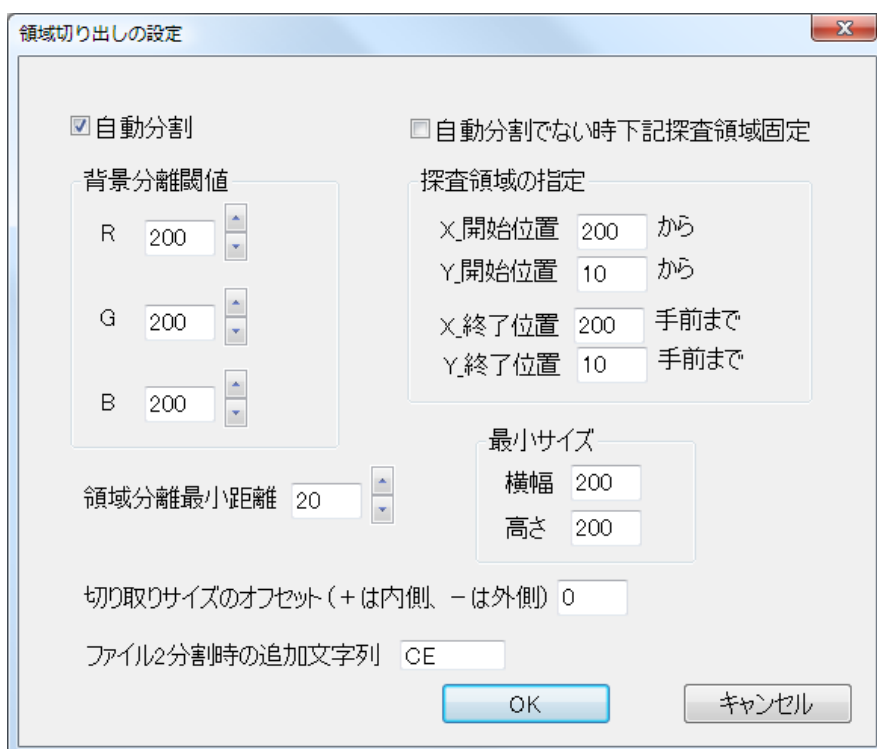
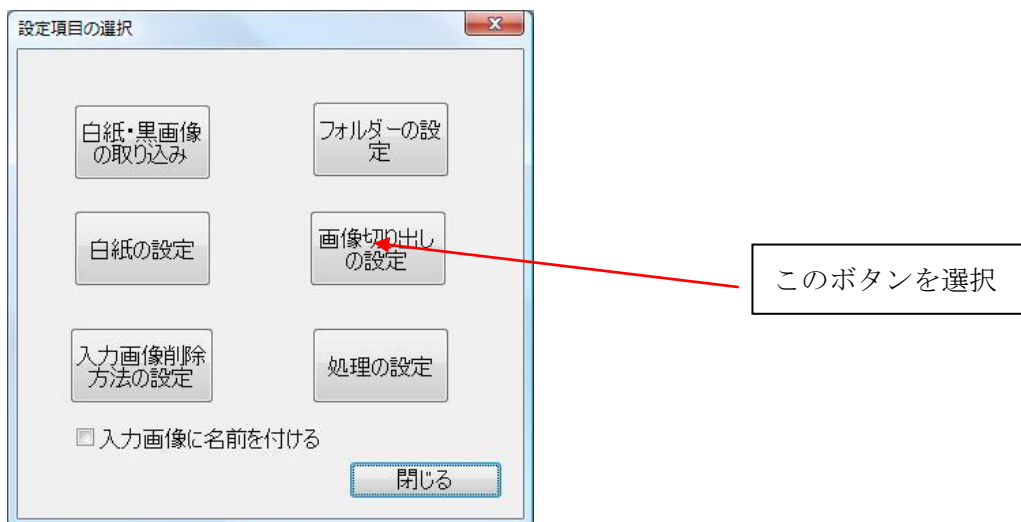
この場合、メインとサブのフォルダ構成の例は以下のようになります。



5. 画像切り出しの設定

2枚のワークを置いた時に自動的に2枚として、1枚であれば1枚として背景を取り除いた画像として切り出しを行うか、あるいは常に固定サイズで切り出すかの設定を行います。

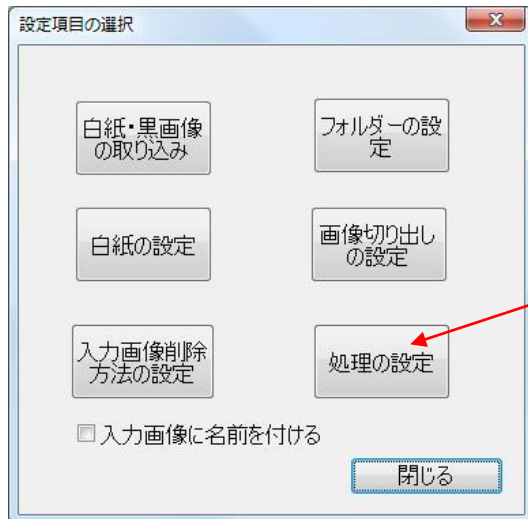
画像切り出しの設定は、**ImgCorrect** の操作パネル上にある「設定」ボタンを押すと表示されるダイアログから「画像切り出しの設定」を選択し、各項目を設定します。



6. 処理の設定

ImgCorrect の処理は、基本的に画像の光量斑補正と歪み補正、さらに複数カメラ時は画像の合成が加わり、その後画像切り出しになりますが、ここでは歪み補正と合成に関しての設定を行います。

処理の設定は、ImgCorrect の操作パネル上にある「設定」ボタンを押すと表示されるダイアログから「処理の設定」を選択し、各項目を設定します。



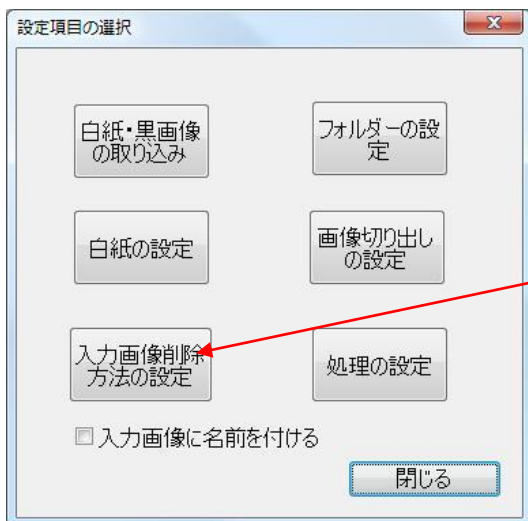
このボタンを選択



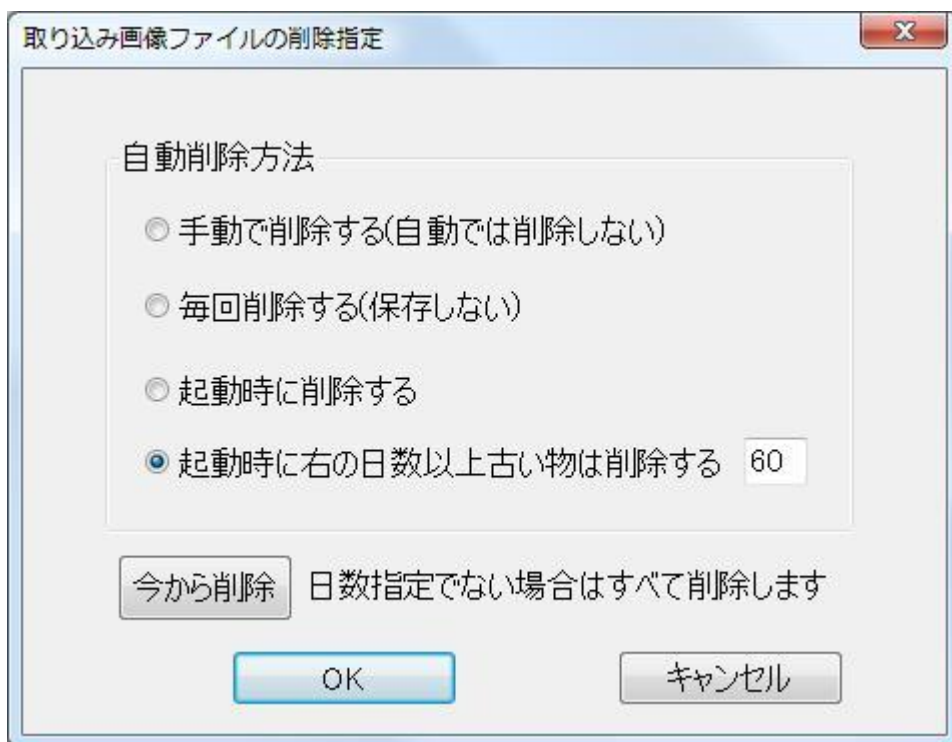
7. 入力画像削除方法の設定

ImgCorrect では、カメラから取り込んだ画像は前記フォルダ構成の「Org_Images¥入力済み」フォルダーに保存され、歪み補正処理後の画像は「CI_WORK」フォルダーに保存されて行きます。

これらの画像をいつまで保存しておくかにより、削除方法を指定します。



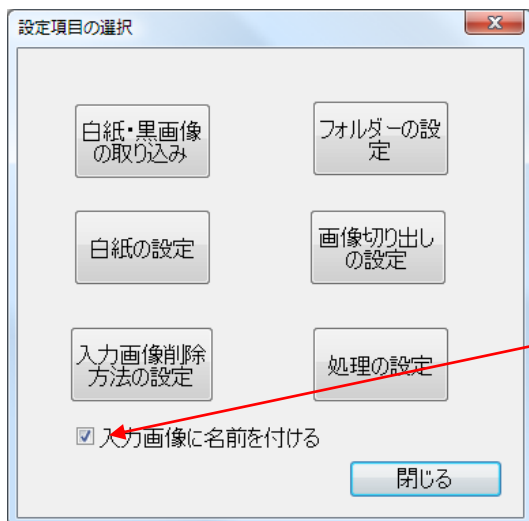
このボタンを選択



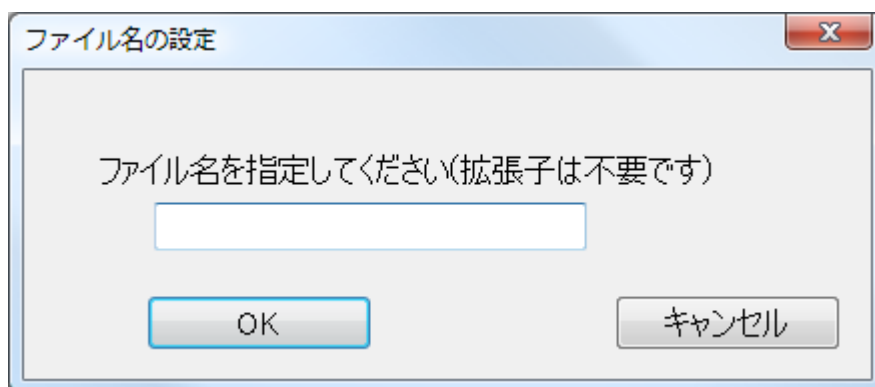
8. 入力画像に名前を付ける

ImgCorrect では、カメラから取り込んだ画像は基本的に電源が入ってからのシリアル番号によるファイル名が自動的に_DSC#####のように付けられたものが「Org_Images¥capture」フォルダーに入って来ますので、これの先頭にタイムスタンプを付けたものが「Org_Images¥入力済み」フォルダーに保存されます。

HallMarker 側へ渡される画像は上記タイムスタンプを除いた部分が用いられますので、この部分を後で分かりやすいように名前を付けることが出来ます。



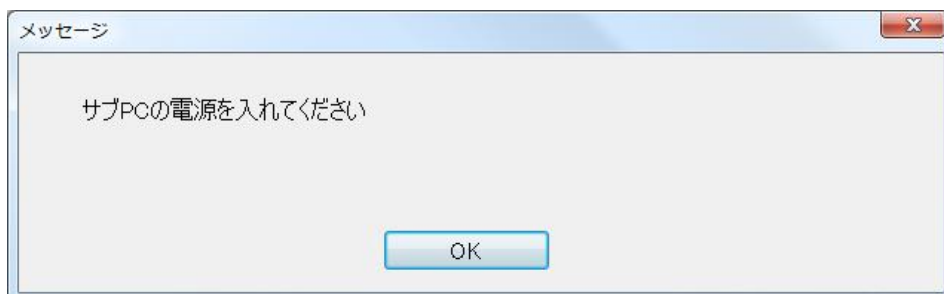
ここにチェックを入れる



9. 起動時のメッセージ（複数台カメラ構成時）

複数台カメラ構成時、カメラは PC と 1 対 1 で接続されていますのでメインのカメラが接続されている PC 以外のサブの PC の電源も投入する必要があります。

ImgCorrect のプログラム自体はメインの PC に組み込まれていますので、ImgCorrect が起動すると複数カメラ構成時は以下の確認メッセージが表示されますので、サブ PC の電源投入を確認の上「OK」を押してください。



10. 終了時のメッセージ

CorrectEye は画像入力部を制御するソフト ImgCorrect と検査ソフト HallMarker から成り立っていますが、ImgCorrect を終了させるとカメラのシャッターを押しても HallMarker へ検査用の画像を渡すことが

出来なくなります。

そのため、確認のため以下のメッセージが表示されます。



<その他>

I. 実行ファイル

ImgCorrect は使用するカメラの台数分（4 台まで）の実行ソフトが走ります。

この時、歪み補正までは各カメラに対応する **ImgCorrect** が行いますが、全体を合成するのはメインの **ImgCorrect** のみで行います。

これらを区別するために、**ImgCorret** の実行ファイルは名前を以下のように分けています。

ImgCorrect.exe	カメラ 1 台の時および複数台使用時のメインプログラム
ImgCorrect-1.exe	カメラ複数台構成時の 2 台目のカメラを担当するサブプログラム
ImgCorrect-2.exe	カメラ複数台構成時の 3 台目のカメラを担当するサブプログラム
ImgCorrect-3.exe	カメラ複数台構成時の 4 台目のカメラを担当するサブプログラム

それぞれの動作は、拡張子を **ini** に変更した設定ファイルにより規定され、**ImgCorrect** を起動すると必要に応じてサブプログラムを自動起動します。

II. 設定ファイル

上記設定ファイルと、前述のフォルダ構成を記述した **Folders.ini** ファイルは OS によって指定されるアプリケーションデータのフォルダ（OS によって異なります）の **GTB** フォルダに格納されます。

例えば、Windows7 の場合

C:\¥ProgramData¥GTB¥ImgCorrect¥ImgCorrect.ini

Folders.ini

¥ImgCorrect-1¥ImgCorrect-1.ini

Folders-1.ini

¥ImgCorrect-2¥ImgCorrect-2.ini

Folders-2.ini

¥ImgCorrect-3¥ImgCorrect-3.ini

Folders-3.ini

WindowsXP の場合

C:\Documents and Settings\All Users\Application Data\GTB\ImgCorrect\ImgCorrect.ini

Folders.ini

\ImgCorrect-1\ImgCorrect-1.ini

Folders-1.ini

\ImgCorrect-2\ImgCorrect-2.ini

Folders-2.ini

\ImgCorrect-3\ImgCorrect-3.ini

Folders-3.ini

Ⅲ. 電源 ON/OFF 時の注意事項

CorrectEye には、PC とカメラがつながっているため電源投入の順番によってはカメラの制御用ソフトが立ち上がっているのにカメラの電源が入っていない場合等、確認メッセージに従った処理が必要になる等の不具合が生じます。

これらを防ぐには、電源 ON 時は PC の起動より前にカメラの電源を投入する必要があります。

電源 OFF 時は、カメラの方が先であれば確認メッセージが表示されますが、処理は終了させるので無視しても構いません。

従って、電源 OFF 時はカメラと PC の順番はどちらでも構いませんが、PC への電源は PC が正常にシャットダウンされたことを確認された後に OFF する必要があります。